

◆9月オンライン研修・講習会の配信内容【講演2】

タイトル	音楽療法の「いま」、隔たりを超えるもの ～「対面」相互作用を高めるために～
講師名	国際音楽療法専門学院 学部長 吉村奈保子（よしむら なほこ）
主な内容紹介	いま、私たちの実践は対面や触れ合いが制約されています。オンラインによるセッション（遠隔音楽療法）では、画面のこちら側と向こう側という隔たりがあり、「人と人はどのように通じ合えるのか」という問いが生じてきます。本講座では、〔見る⇔見られる関係〕を基に「対面」での相互作用を辿ることで、この隔たりを調整するための機能について皆さんと考えていきたいと思えます。
プロフィール	国立音楽大学器楽科(ピアノ)卒業、明星大学人文学部心理・教育学科通信教育課程修了。 社会福祉主事、日本音楽療法学会認定音楽療法士。 公立小学校特別支援学級の非常勤講師。 その他、救護施設や発達障害児自主グループなどで音楽療法を行なう。 共著「静かな森の大きな木」春秋社 音楽療法で関心を寄せているテーマ：人随伴性と音楽の可変性